



えんばーく（長野県塩尻市）



①図書館を中心とした複合施設「えんばーく（長野県塩尻市）」。
②昨年創立50周年を迎えた藤久保小学校③長年の課題となっている藤久保地域公共施設の駐車場問題。複合化で拡充を予定。



利用者に対しては、図書館へ誘導して有用な書籍・情報を提供。藤久保地域拠点施設の基本理念、「集い・学び・育つ」輝く未来創造拠点の実現には、図書館の存在は欠かせません。

情報強化と居場所づくり

新施設ではデジタル技術の活用など情報収集と情報発信を強化。施設情報の他、行政、イベント、団体活動などの情報が利用者と施設・イベントをつなぎ、

交流の創出が期待されます。施設に寄るだけで「自分が求める情報+α」を自然と得られる。そんな情報サービスをめざします。

また、複合化は年齢、性別、国籍、障がいなどを問わず、すべての人の居場所づくりにもつながり、誰一人として取り残さないとする「みよしSDGs」の考え方にも一致します。

夢が溢れ、三芳の象徴となる拠点づくりに、ぜひ皆さんも携わってみてください。

提供サービスの基本的方針

- 図書館を核としたサービス
- 情報収集・情報発信の強化
- 全ての人の居場所づくり



みらいの広場へ

みよしの未来に向けて

夢溢れる三芳の拠点に。
藤久保地域拠点施設整備事業

図 政策推進室 ④424

藤 久保小学校をはじめ、図書館や公民館など藤久保にある公共施設の多くが築35年以上経過しています。老朽化に加え、社会問題化している人口減少・少子高齢化を見据え、小学校と公共施設の複合化をめざす「藤久保地域拠点施設整備事業」。夢溢れる拠点の完成に向けて、着々と準備を進めています。

図書館を中心とした拠点整備

複合化した各施設の連携により、あらゆる住民ニーズに応えたサービスの提供が見込まれる藤久保地域拠点施設。その中で、中心となるのが図書館です。

三芳町は、図書館における一人当たりの貸出冊数が19年連続県内一位。平成28年には「よみ愛・読書のまち」を宣言し、ブックスタートなど様々な取り組みにより、誰もが読書に親しめるまちづくりを推進してきました。

図書館を核とすることで、多くの図書館利用者を他の機能（施設）へ誘導し、利用を促すことができます。逆に他の施設

コンセプトは5つの機能のつながり

基本理念

～集い・学び・育つ～

輝く未来創造拠点

基本理念である『未来創造拠点』の実現に向け、導入される各機能がつながり、新たなイノベーションや集い、学び、育ちの拠点となる施設をめざします。

